

あたたかい居場所
～鹿島田駅付近における地域住民がほっこりする空間の提案～

BR16029 小幡詩歩
指導教員 鈴木俊治

1. 研究背景・目的

新川崎・鹿島田地区では、80年代から段階的に進んだ都市化により、住商業複合型市街地形成が進んでいる。一方、住民参加の地域活動が継承されている。しかし、今後の再開発により継承されてきた地域活動が薄れてしまう可能性がある。そこで、エリアマネジメント組織「鹿島田デイズ」が設立され、鹿島田地区の価値をより高めていくために動き始めている。

それを受け、本研究では、現在未利用地である再開発予定地や都市計画道路予定地を対象とし、住民が快適に生活できる空間を提案する。

2. 対象地区について



神奈川県川崎市幸区の JR 新川崎駅と JR 鹿島田駅に囲まれた空間が鹿島田地区である。

JR 新川崎駅に隣接する土地はかつて新鶴見操車場だった。昔から残る商店街と高層建築物の新旧の混在が見られる特徴的な景観である。

3. 住民の空間利用に関する調査

3-1. 日常的な歩行ルート調査

ワーキングカフェ「鹿島田 DAYS」でワークショップ参加者に「普段よく使う歩行ルート」の調査を行った。
 【調査日】2019年6月6日
 【調査人数】19人
 【調査結果】

鹿島田地区に住んでいる人は、駅から自宅、自宅から職場以外にも歩行する範囲が広い。

鹿島田地区に住んでいない人は、駅間を結ぶペDESTリアンデッキや駅付近のみを利用している。

3-2. 公共空間活用社会実験

3-2-1. 社会実験の概要

【目的】

鹿島田駅前広場を日常的な人の居場所にするために約2週間実験的に広場を作り、将来の広場の使い方の可能性を検討する。

【概要】

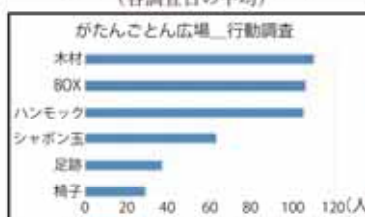
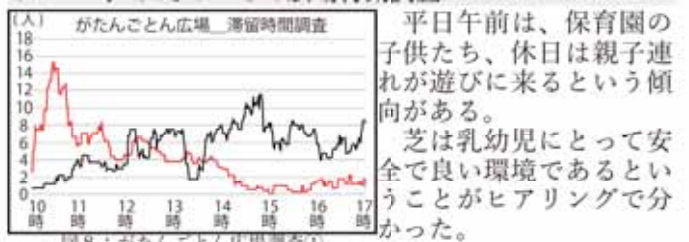
期間中に学生が広場の監視を行い、一部日程では市民主体の企画（遊び場づくりやヨガなど）を広場内で実施する。チャレンジウィーク実施前にはウッドデッキやウッドボックスの作成を行った。

【調査日】

10月17日(木) 曇り 20°C	24日(木) 晴れ 21°C
19日(土) 曇り 20°C	26日(土) 晴れ 23°C
20日(日) 晴れ 23°C	11月1日(金) 晴れ 20°C
21日(月) 曇り 20°C	2日(土) 晴れ 18°C
23日(水) 晴れ 21°C	



3-2-2. がたんごどん広場行動調査



木材の積み木や DIY で作った BOX は様々な遊び方ができるため、利用が多い。椅子とテーブルを置いていたが広場の利用は子供が多いため、親の荷物置き程度の利用だった。

3-2-3. シール式アンケート調査



4. 問題提起と課題

【現状分析】

S (強み) ・新旧の混在（景観） ・エリアマネジメント組織がある ・住・商・業複合型市街地である ・住民同士の交流が活発である	W (弱み) ・デッキによって駅間のアクセスに地上が利用されない ・乳幼児が遊べる屋外空間の欠如 ・日常的に交流する場が少ない
O (機会) ・まちを活性化するために必要なプレイヤーが揃う可能性がある ・未利用地がある	T (脅威) ・ますます大規模開発が進み、昔ながらの地域の良さがなくなる ・生産年齢人口・年少人口の減少

【課題の整理】

- ①鹿島田を訪れる人のうち鹿島田に住んでいない人は、ペDESTリアンデッキの利便性により、駅周辺以外のまちを認識していない。
- ②鹿島田地区には芝があり、且つ清潔な公園がない。乳幼児が遊べる公園が求められている。
- ③地域活動の多い地区ではあるが、日常的に住民が交流することのできる場所が少ない。

5. 設計コンセプト

【設計テーマ】がたんごとんプラン

鹿島田での活動を通して、地元の人を迎え入れてくれる温かさを感じた。そこで、鹿島田で関わってきた人たちの生活がより豊かになり、鹿島田で暮らすことを誇りに思える設計とする。

設計対象地は、現在未利用である都市計画道路予定地と開発予定地とする。

そのために空間整備として以下の3点を提案する。

- ・駅周辺以外のまちの認知度が低いため、駅以外に人が集まる場所を作る
- ・駅から目的地を繋ぐみちを楽しく歩けるようにする
- ・目的地が電車から見えることでそこに寄りたくなるようにする

これらにより、鹿島田を愛する人や鹿島田に住む人が愛着を持って行きたくなる温かみのある居場所を作り出し、地域交流が薄れないことを目標とする。

6. 解決したいSDGs



④単一的な遊び方だけでない広場にするこ
とで、子どもが自ら遊び方を考える。
思考力向上につながる。



⑪地域の人が集まる場所にするこ
とで、顔見知りが増え、地域の安全やコミュニティの発
展に繋がる。

7. 対象地の現状



図12: 対象地から見る電車 図13: 都市計画道路予定地 図14: 計画地の現状

8. 提案

【パース1】



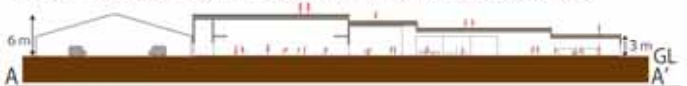
住民の憩いの場となる広場
芝の丘から鹿島田の特徴的な景観を眺める

【パース2】



こどもが自由に遊べる部屋

【AA' 断面図】 様々な高さから電車を眺められる



9. まとめ

この提案により、日常的にこの場が利用され、コミュニティの発展につながる。さらに電車を利用する人の興味を惹くことで鹿島田への来訪を増やす。

【配置図兼一階平面図】

